

シンポジウム

大名華族家と地域社会

2000年代以降、大名華族家を中心とする「旧藩社会」が地域社会の近代化にいかに関与をおよぼしてきたのかを問う実証研究がさかんになってきました。一方で、個別具体的な研究は増えているものの、いまだ体系化はされていません。本シンポジウムでは、現状における研究の到達点を確認するとともに、各藩の事例から残された課題や今後向かうべき方向について議論します。

報告

- 研究報告① 旧藩社会をめぐる研究の現状と課題 宮間純一（中央大学文学部）
- 関連報告① 旧藩と民衆
—長州毛利公爵家と旧藩領山口県の事例から— 上符達紀（大田区文化振興課）
- 研究報告② 武家華族資産家の歴史的個性
—近代と前近代の連続性・関連性について— 松村 敏（神奈川大学経済学部）
- 関連報告② 旧藩の資産と事業のゆくえ
—藩研究と大名華族研究をつなぐために— 今村直樹（熊本大学永青文庫研究センター）
- 研究報告③ 旧藩主家の家政運営と規律
—有馬騒動を手がかりとして— 内山一幸（大阪経済大学経済学部）
- 関連報告③ 加賀藩重臣前田土佐守家の近代 竹松幸香（前田土佐守家資料館）

討論

司会：宮下和幸（金沢大学人間社会研究域客員研究員）

2022.2.26(土) 13:00～17:00 対面とオンライン (Zoom) ハイフレックス型で開催

対面で参加される方

- 会場：金沢大学サテライトプラザ（金沢市西町教育研修館3階集会室）※JR金沢駅よりタクシーで約5分、もしくはバス（北陸鉄道）で武蔵ヶ辻下車後、徒歩約5分
 - 開場：12:30
- ※当日会場でレジュメを配付します。

※感染状況に鑑み、対面での参加は石川県内の方に限定させていただきます。
なお、さらに感染状況が悪化した場合、全面的にオンライン開催に切り替えることもございますので、御注意ください。その場合は、参加申し込み者にメールでお知らせします。

オンラインで参加される方

- 開催方法：Zoom
- ※ オンライン参加の方にはご登録いただいたメールアドレスにて Zoom の URL およびレジュメをお送りします。

対面でもオンラインでも参加登録をお願いします。

要参加登録（対面参加の方を含む）。参加費無料。
右下のQRコードまたは以下のフォームから2月23日（水）までに参加登録してください。
<https://forms.gle/GjAyq46z42h92rHR6>

【主催】加賀藩研究ネットワーク

科学研究費助成金・基盤B「地域社会史の視座に立った旧藩社会の総合的研究—「旧藩地域社会論」をめざして—」（課題番号21H00571、研究代表者：宮間純一）

【共催】中央大学政策文化総合研究所「地域社会の持続と歴史的資源の保存・活用」チーム（主査：宮間純一）

※シンポジウムに関するお問い合わせは、j-miyama アット tamacc.chuo-u.ac.jp（宮間純一あて。アットを@に変えてください）までお願いします。

